

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

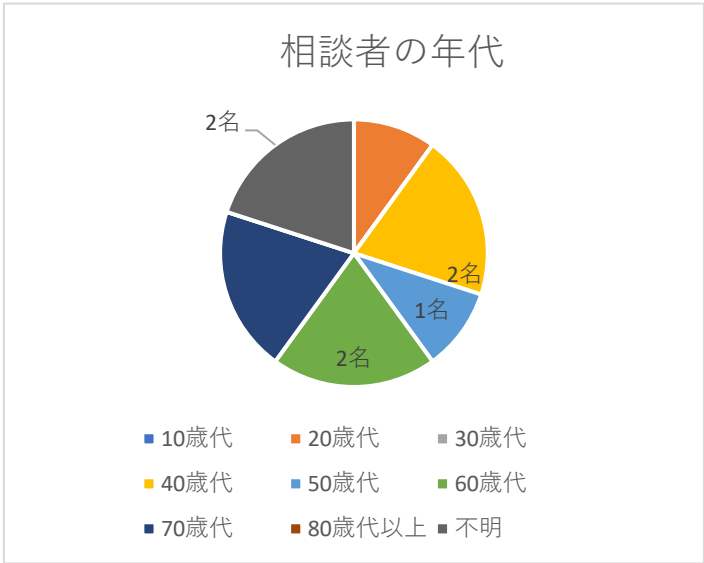
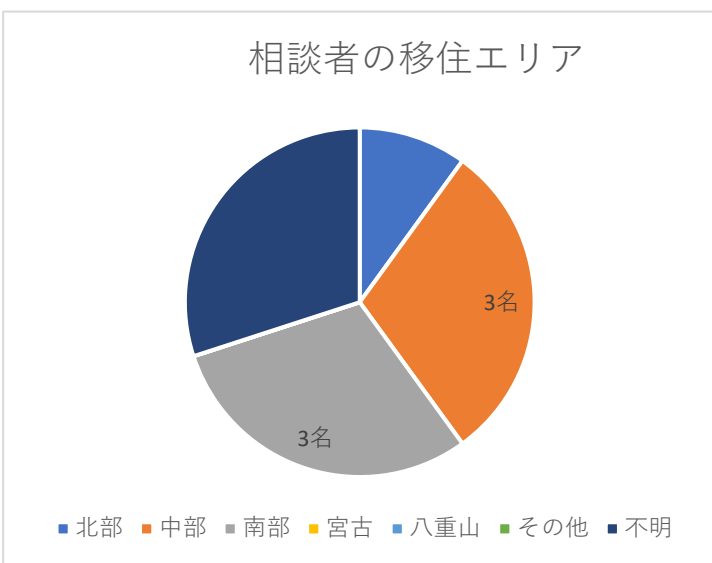
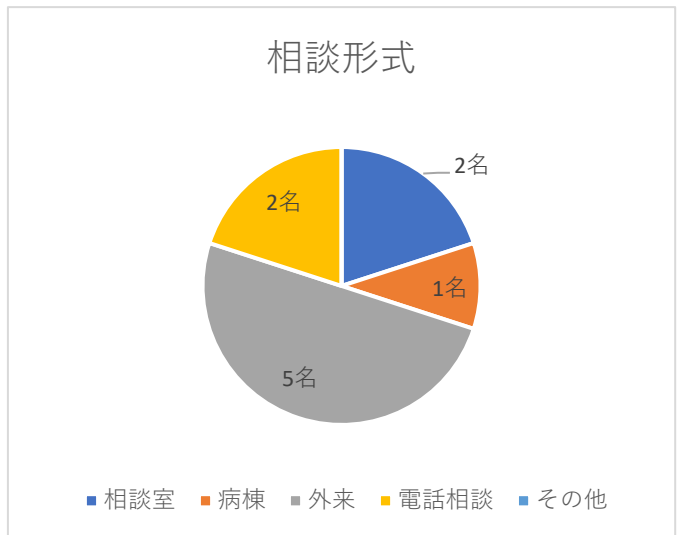
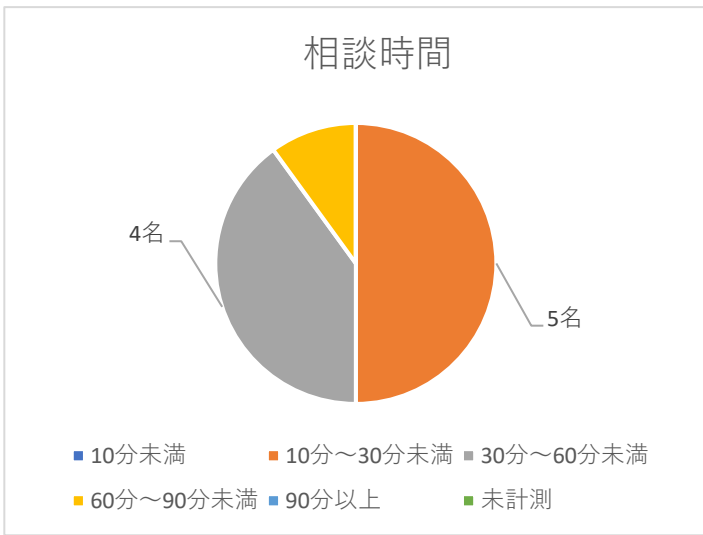
実施期間：令和5年7月1日～令和5年9月15日

沖縄県地域統括相談支援センター

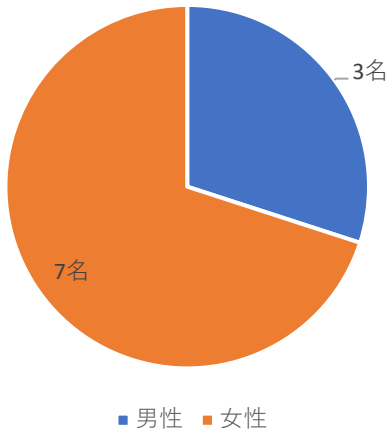
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間 令和5年7月1日～令和5年9月15日
 ■ 調査件数 10件

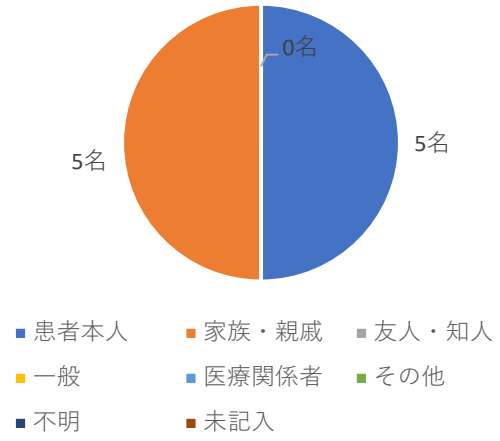
相談月	件数
7月	5
8月	2
9月	3
合計	10



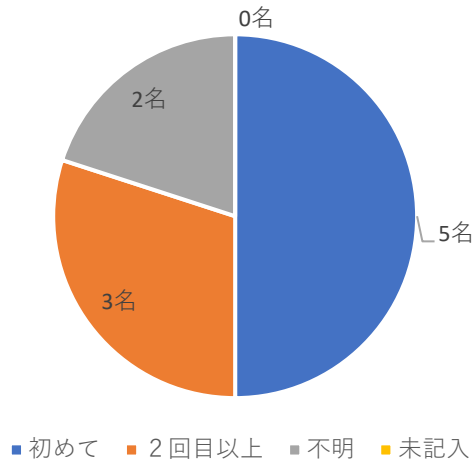
相談者の性別



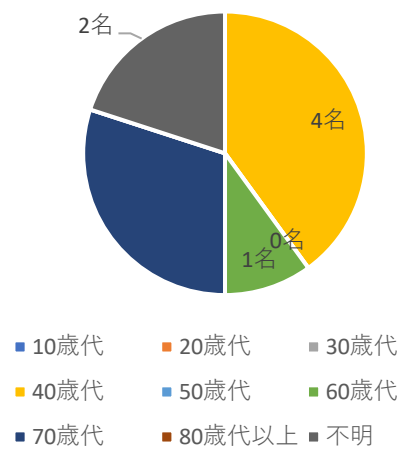
相談者のカテゴリー



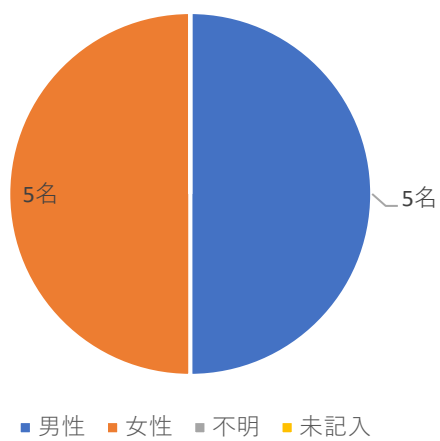
相談者の利用回数



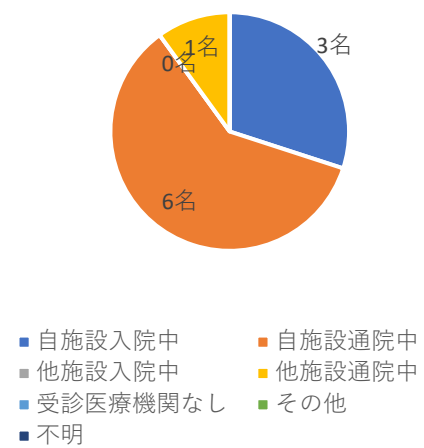
患者本人の年代

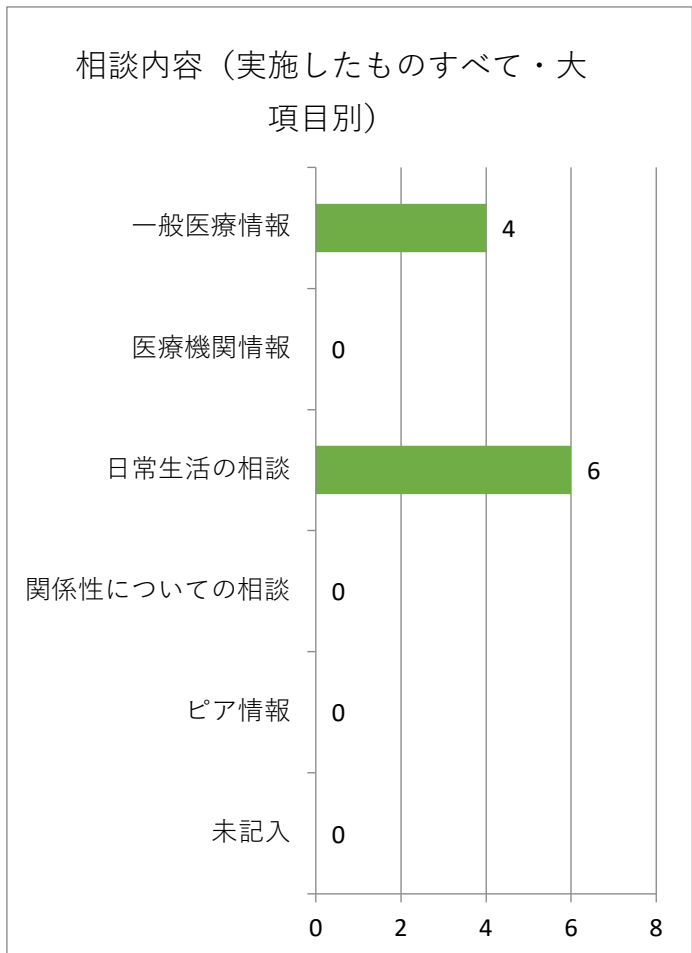
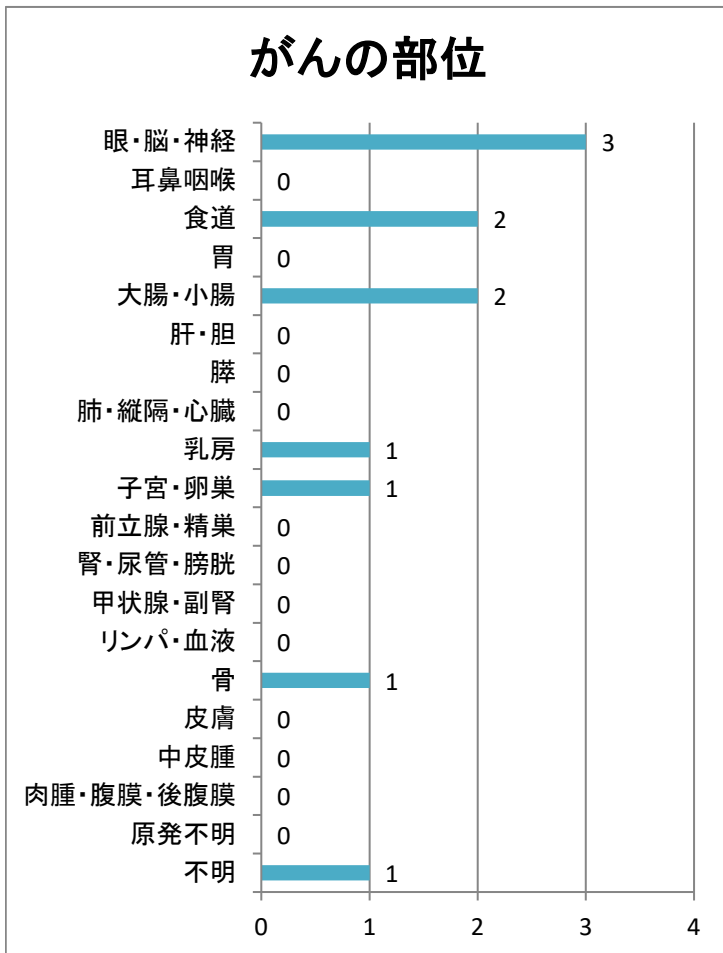
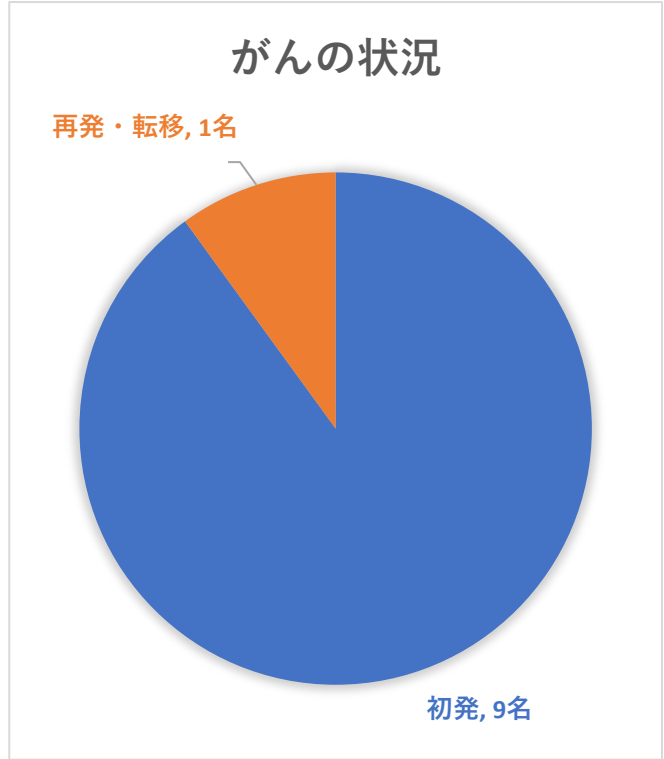
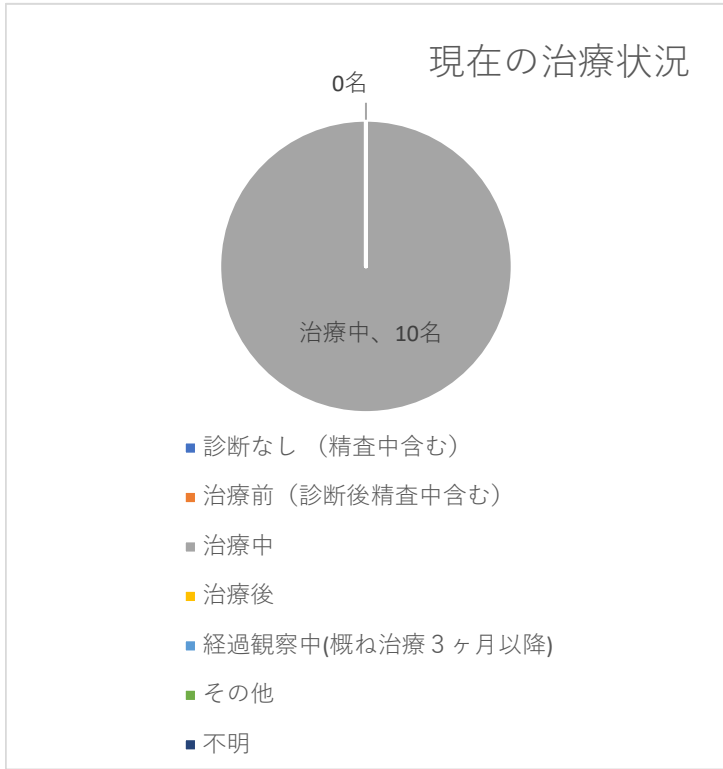


患者本人の性別

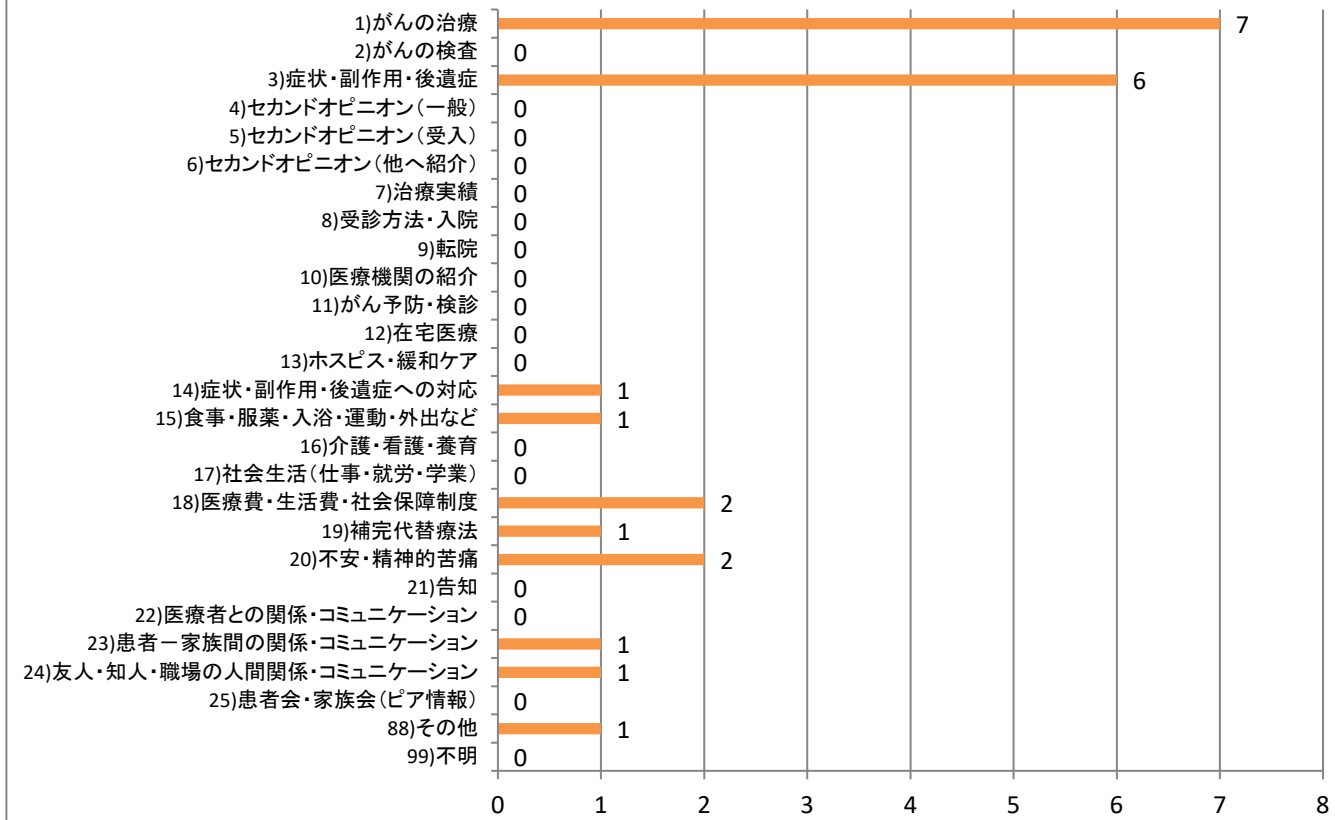


受診状況

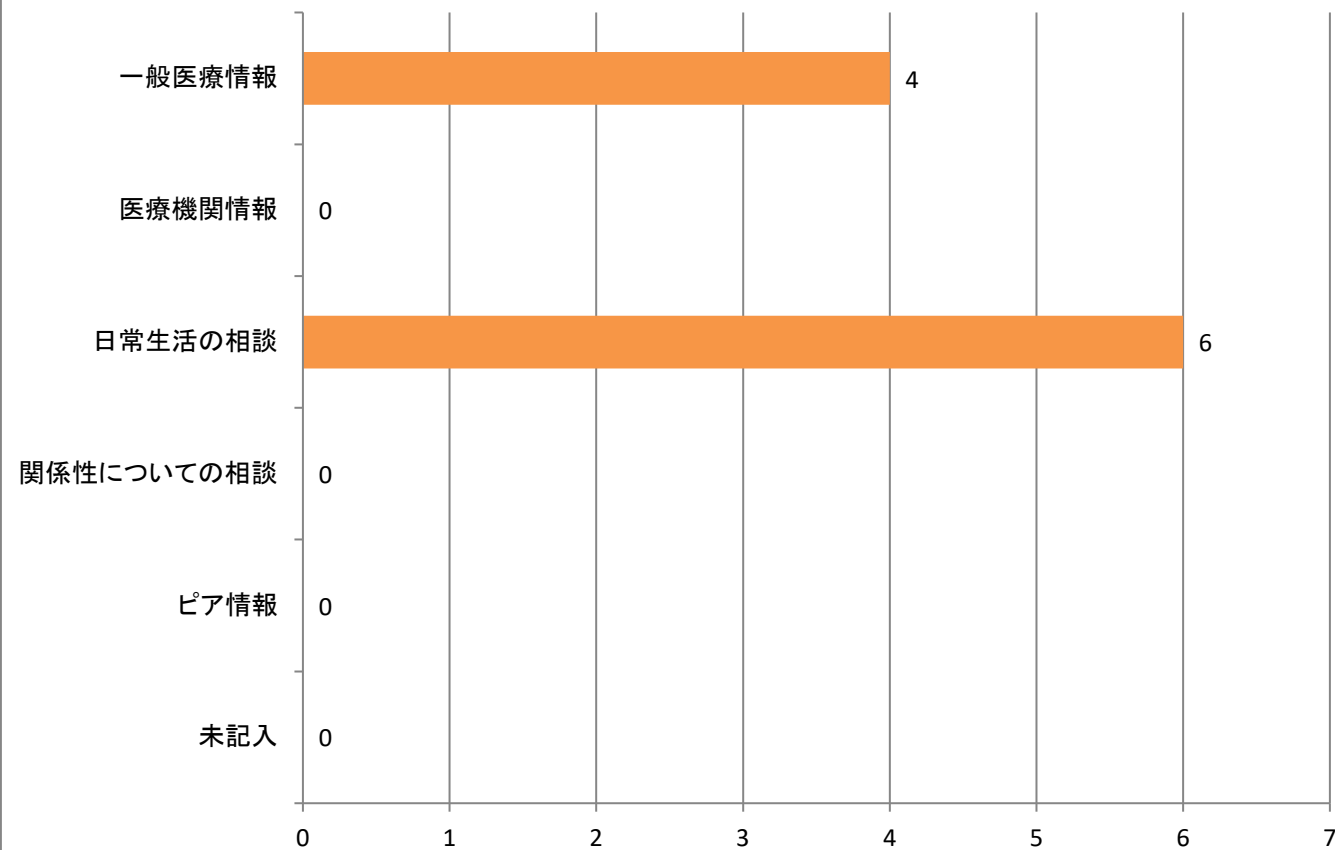




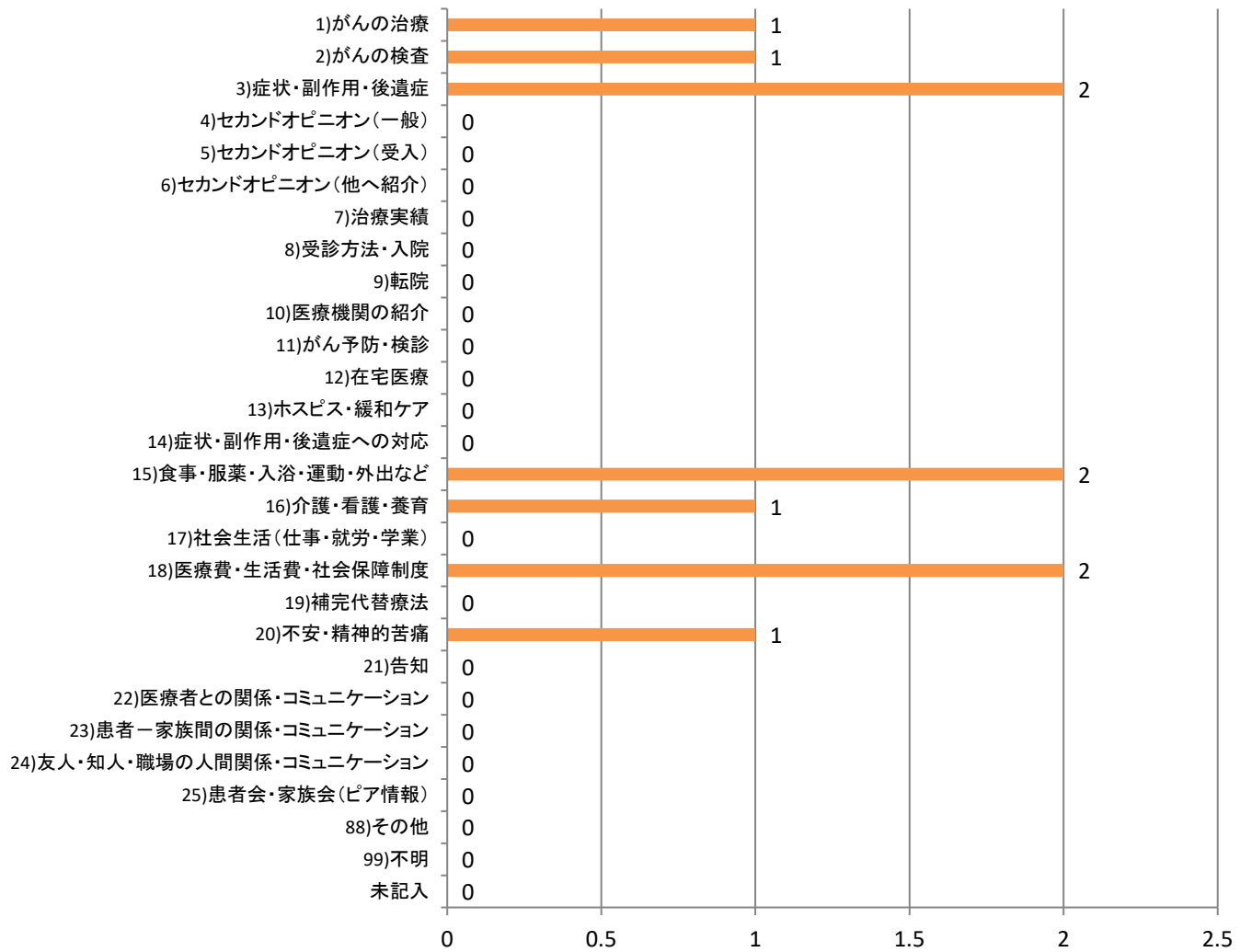
相談内容(実施したものすべて)



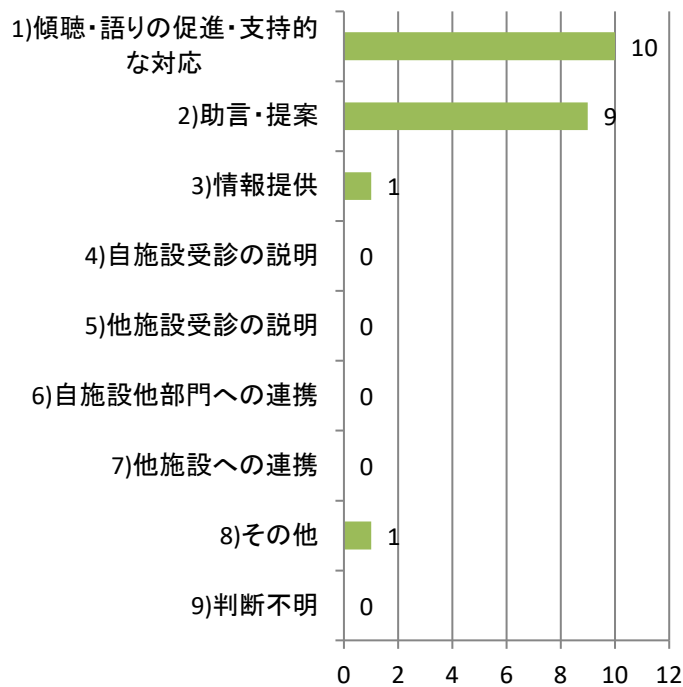
相談内容(最も比重の高いもの・大項目別)



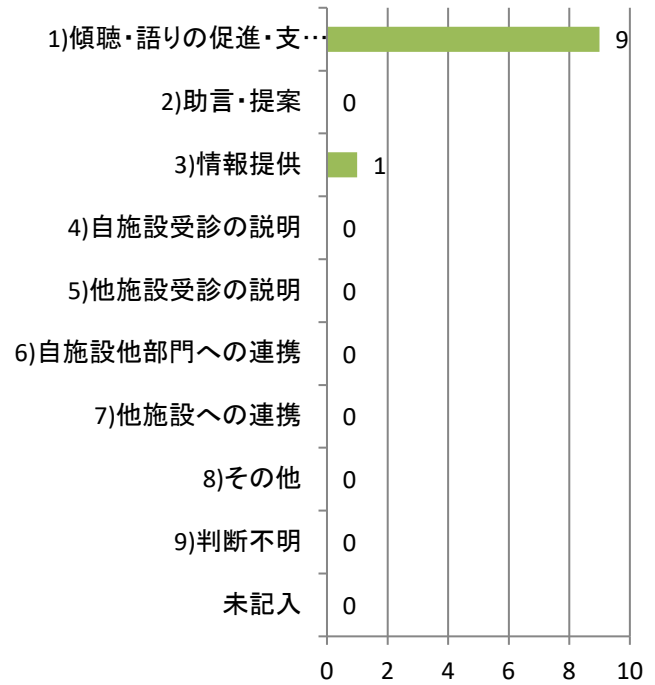
相談内容(最も比重の高いもの)



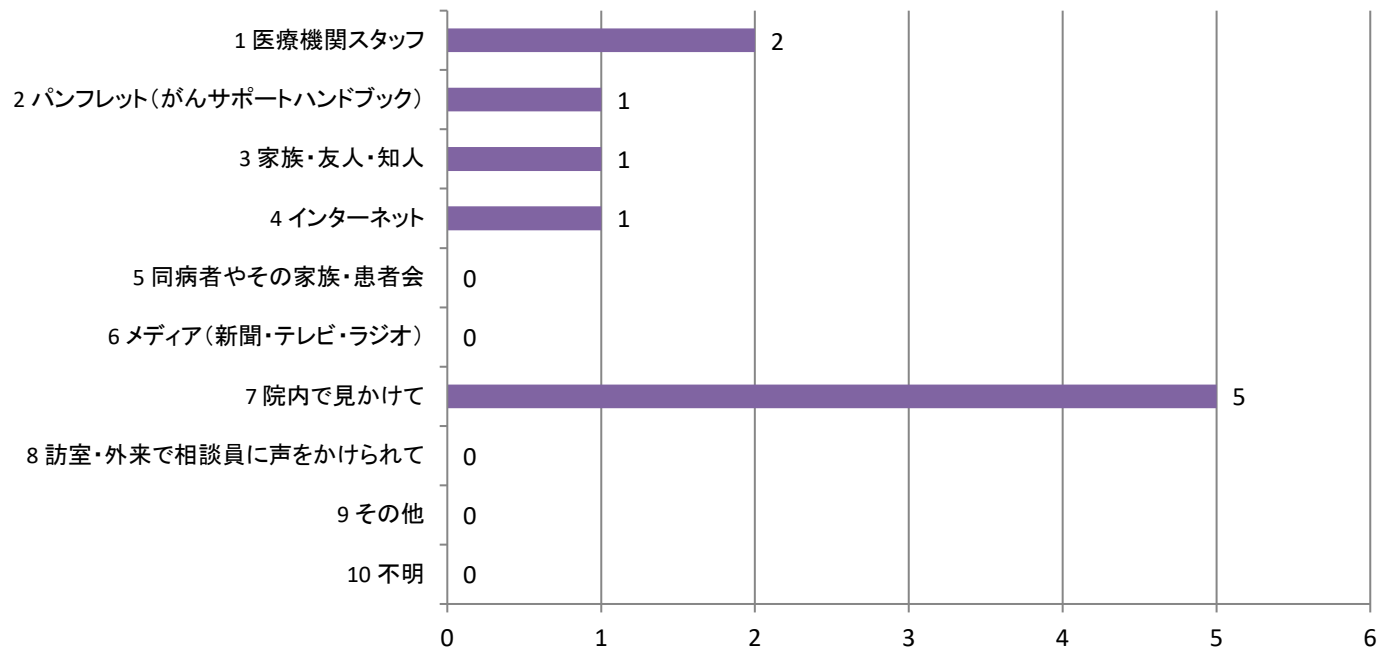
対応内容(実施したものすべて)



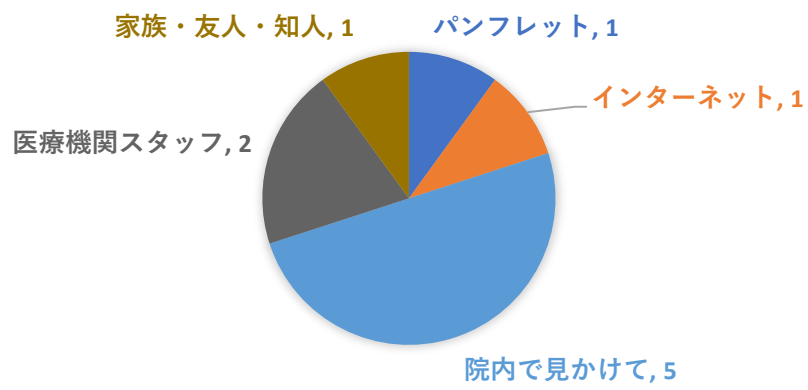
対応内容(最も比重の高いもの)



認知経路



認知経路



令和5年度 沖縄県委託事業

沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン
報告

令和5年7月～令和5年9月

令和5年度 がん ピア・サポーター派遣事業①

1. 名 称 令和5年度 第4回 ゆんたく会
場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
日 時 令和5年7月4日（火）14:00～15:00
派遣者 がん ピア・サポーター（上地 久美子）
参加者 一般参加者 0名

院内スタッフ 5名（講師含む）

ぴんくばんさあ与儀さんによる患者会活動報告とがん体験を語っていただいた。体験談後は、質疑応答を兼ねてフリートークの流れとなる。ぴんくりボンアドバイザーについて等や今後の課題についての質問もあり、与儀さんからもピアサポーター養成講座の必要性もお話していただいた。リボンズハウスで作成している乳房パットやケア帽子も実際に手に取り触らせていただいた。自分たちでできることをやろうとのことで、患者さんに寄り添うために試行錯誤している様子が伺えた。新型コロナウイルス感染症が感染拡大の影響からか、参加者はいなかったが、活気ある質疑応答と患者会の活動状況を知ることができ良かったと感じた。



2. 名 称 令和5年度 第5回 ゆんたく会

場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室

日 時 令和5年9月5日（火）14：00～16：00

派遣者 がん ピア・サポーター（上地 久美子）

参加者 一般参加者 7名

院内スタッフ 6名（講師含む）

中部病院相談員 1名

リハビリテーション科の名嘉先生より「治療しているのに運動していいの？」のテーマで講話いただく。参加者も普段の日常生活での不安や悩みをみんなで共有した。フリートークでは、抗がん剤治療の辛い気持ちについて、不安をどのように対処していたなどピア・サポーターからも体験談を語った。みんなそうなんだ、私だけじゃないんだとの安堵する表情も見られた。参加者同士でも、家にいると色々考えてしまうので、外で簡単なボランティアをしているなど情報共有もできて良い雰囲気フリートークとなった。



2. 名 称 第137回 那覇がん患者ゆんたく会

場 所 那覇市立病院 3階講堂

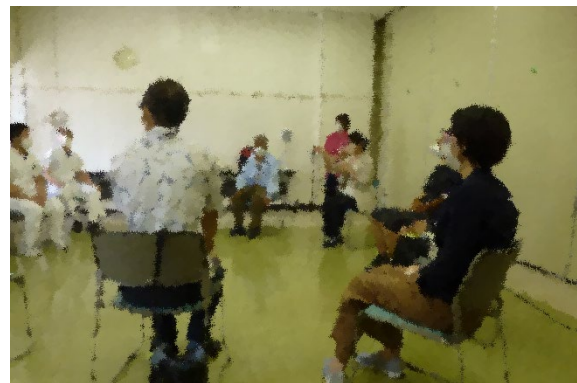
日 時 令和5年7月20日(木) 14:00~15:00

派遣者 がん ピア・サポーター (西村 克敏)

参加者 一般参加者 3名

那覇市立病院 スタッフ 10名 (講師含む)

理学療法士と作業療法士による自宅でできる運動療法について講演後、フリートークを行った。みなさんのがん種や参加したきっかけなどの理由を交えて自己紹介を行った。今回運動に関するお悩みや疑問について意見交換会のように活発にお話できていたように感じた。傾聴を主とし、アピアランスケアについての悩みもお話いただいた。肌を保護するためにケア帽子が必要だったことや、まつ毛もぬけるのでメガネが必要だったことなど知らないことも多く、もっと情報が欲しかったとがん患者さんの経験談をお話いただいた。当センターでアピアランスケアについて情報提供できる環境づくりを考えるきっかけになった。また、同じように辛い思いをしているがん患者さんのサポートをしたいとのことで、内容説明を行った。



3. 名 称 第138回 中部地区ゆんたく会

場 所 中部病院 7階レストラン

日 時 令和5年7月27日(木) 16:00~17:15

派遣者 がん ピア・サポーター (中山 富美)

参加者 一般参加者 5名

中部病院 スタッフ 6名

今回は、1つのテーブルを囲んでゆんたく会開催となる。1人ひとり自己紹介と近況報告、個々悩みや不安を打ち明ける。意見を述べたり共に笑ったり和気あいあいとフリートーク形式で話が進む。月1回のこの時間を楽しみにしている様子。会の終盤では、フラダンスの講師によるパフォーマンスを披露。簡単な振り付けを教えていただきみなさんで身体を動かした。ハワイに行った気分が味わえたなど、音楽にみなさん癒されていた。当センター主催のオンラインゆんたく会やがんサポートハンドブックについてもテーブルの真ん中に広げ手に取っていただけた。



3. 名 称 第 139 回 中部地区ゆんたく会

場 所 中部病院 7階レストラン

日 時 令和5年8月24日(木) 16:00~17:15

派遣者 がん ピア・サポーター (中山 富美)

参加者 一般参加者 5名

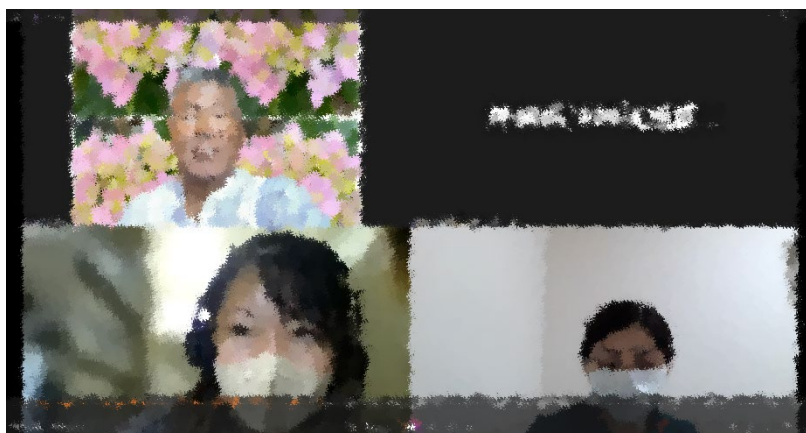
中部病院 スタッフ 6名 / 実習生・教員 8人

看護学生の実習期間ということもあり、多くの方が参加。一人ひとりの自己紹介を行いサロンが始まった。図書コーナーにある「くもをさがす」本を紹介し、各々好きな本や癒されることなど話が弾む。がんになったからこそ、命は有限であることを意識でき、日々楽しく周りに感謝できることを話す。生きるために治療をしている患者さんの話を聞き、看護学生も興味深く楽しくサロンに参加していた。がん患者さんに寄り添うピア・サポーターについても知ってもらえたのではないかと。予定より15分延長となり閉会となる。



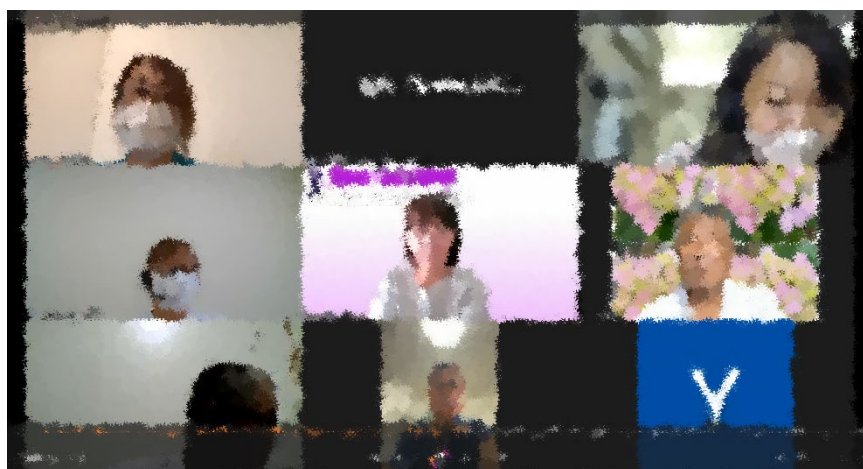
第4回 オンラインサロン報告書

名 称	第4回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 5年 7月 18日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・14:30より第4回オンラインゆんたく会を開催。</p> <p>・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図る。</p> <p>・いつものメンバーが参加とのことで、自己紹介は割愛し、フリートークとなる。</p> <p>・参加者がお花を背景にするほどお花が好きで、今季の花について思い出を語る。</p> <p>・また、1ヶ月の進捗状況を報告しあう。コロナ禍で祭りがなくなっていたが、今年は色んな場所で開催するから花火が楽しみとのこと。</p> <p>・梅雨が明け夏本番暑い日々が続く。熱中症が心配。水だけではなく塩も取った方がいいみたいだが、慢性腎不全を患っているため、塩を避けて味が薄いものを食べているとのこと。</p> <p>・アプリでのウォーキングを去年の11月より頑張っている。アプリに励まされながら続けている。小ぶりの雨の日もウィーキングしている。5~6年までは1~2時間は歩けた。</p> <p>・コロナも増えてきているから、心配との声がある。第5類に変わってから観光客の方も多くいらっしゃる。自身で気を付けて行きましようとお話があった。</p> <p>・胆管がんを患っており、寛徳しているが、熱が出ると胆管炎を考えられることもあり、病院受診をしないといけない。ずっと付きまとう病気で病院受診が必要とのこと。</p> <p>今回は、申し込み2名いたが、1人は私用で欠席となった。</p> <p>15:30に次回の案内し閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様1名・ピアサポーター1名、北部地区医師会病院1名、事務補佐員1名)</p>



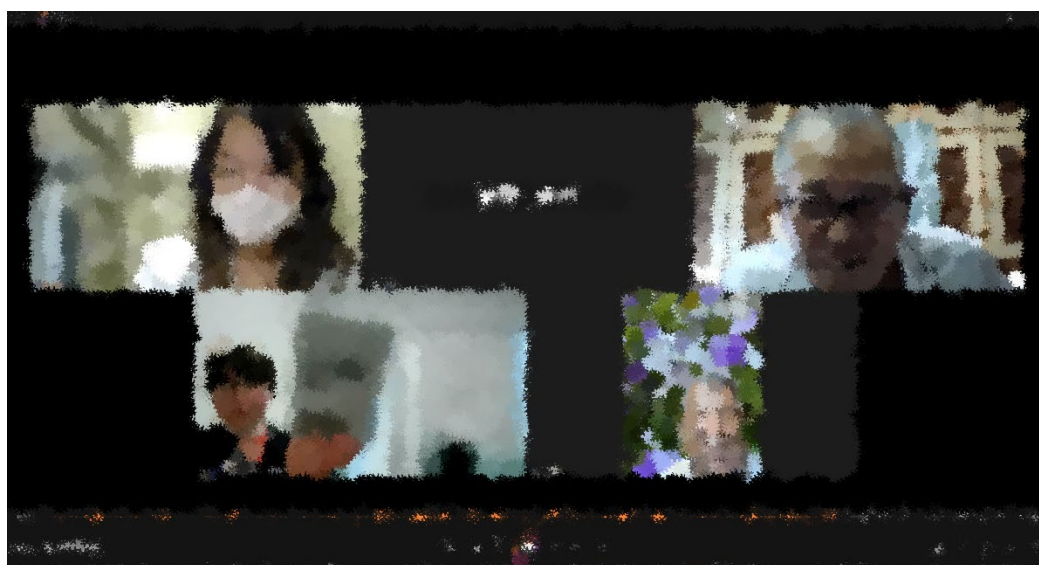
第5回 オンラインサロン報告書

名 称	第5回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 5年 8月 15日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 3名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・14:30より第5回オンラインゆんたく会を開催。 ・参加者は自己紹介をし、1名今回は顔出しなしで見学のみ参加者もいたが、参加者は4名となる。 ・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図った。 ・悩みや不安を一人ひとり打ち明ける。 ・今回の参加者は消化器系を患っている方が多く、不安などはないが、便秘で困っているなどの声があがり、みなさんからアドバイスなどの声掛けもあった。チャットも活用し、話が弾む。 ・ピア・サポーターとして、経験談などを語ることもでき良かったのではないかな。 ・1名の参加者のネット環境が悪く、お話することが出来なかったため、次回は事前に確認しておくといいかもしれない。 ・みなさんしっかりお話ができて良かったと感じた。 <p>15:30に次回の案内し閉会となる。</p> <p>*参加者 (患者様4名・ピアサポーター3名、宮古病院1名、事務補佐員1名)</p>



第6回 オンラインサロン報告書

名 称	第6回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 5年 9月 19日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 2名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・参加者の接続に時間がかかっていることが見受けられることから開始時間より5分遅れて第6回オンラインゆんたく会を開催となる。</p> <p>・今回は申し込み3名の患者さんがいたが、1名接続不良で2名の参加者となった。いつも通り画面共有してお約束事を読み上げ共通認識を図る。</p> <p>・ゆんたく会とのことで、近況報告など何気ない話をして楽しく過ごす。</p> <p>・旅行の話や今後したいことなど話が弾む。</p> <p>・八重山病院からは、最近の取り組みとのことで、高校の手芸部を訪問しケア帽子を作成してもらえるよう作り方を教える活動の報告もあった。</p> <p>15:30に次回の案内し閉会となる。</p> <p>・1名接続が出来なかった参加者には電話で説明し入室するよう試みたが、上手くいかなかった。今度琉大に寄ることが出来るときに端末を持ってきていただけたら使い方をサポートする旨をお伝えした。また、今回は入院を控えているとのことで早めにお話したいとのことで、オンラインゆんたく会後に上地さんにて電話相談対応してもらったこととなった。</p> <p>*参加者 (患者様2名・ピアサポーター2名、八重山病院1名、事務補佐員1名)</p>



令和5年度 沖縄県委託事業

出張ピア・サポート 開催報告

実施日：①令和5年8月10日（木）14：00～16：00
②令和5年9月10日（金）14：00～16：00

【名 称】

出張ピア・サポート

沖縄県内のがん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内容はがん ピア・サポーター（がん経験者）によるがん個別相談とする。

【目 的】

1. がん患者や家族の不安軽減
当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。
2. がん ピア・サポートの周知
当センターの普及活動とし、がん ピア・サポート相談室の利用へつなげる。
3. がん ピア・サポーターの活用
当センター主催のがん ピア・サポーター養成講座修了生である登録ピア・サポーターの活動の場所として提供する。

【概 要】

1. 日 時 ①令和5年8月10日（木）14：00～16：00
②令和5年9月8日（金）14：00～16：00
開始時間14：00、14：30、15：00、15：30
全4回（各30分）
がん相談（基本的にはがん経験者のピア・サポーター3名で対応）
スタッフ（事務員1名）
2. 場 所 ①県立中部病院
②那覇市立病院
3. 対 象 がん患者、そのご家族・ご遺族など
4. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター（令和5年度 沖縄県委託事業）
5. 共 催 琉球大学病院がんセンター
6. 参加費 参加・相談無料
7. 予 約 予約優先・当日受付

【イベント当日の流れ】

- 13:00 ~ 13:40 会場設営
- 13:40 ~ 14:00 打ち合わせ
- 14:00 ~ 16:00 受付・相談会（各30分ずつ×4回）
- 16:00 ~ 16:15 振り返り
- 16:15 ~ 17:00 片付け・退館

*がん相談会の当日受付から運営まで当センター関係者にて行った。

【中部病院／参加人数】 1名

【中部病院／振り返り】

- ・チラシ作成時は、中部病院の職員と内容標記について、しっかりと確認できたのは良かった。場所の案内については前もって確認が必要と感じた。
- ・日程決定から開催までに広報に十分な期間がなかったので、次回開催時は最低でも1ヶ月前までに日程決定と広報をしっかりと行いたい。
- ・当日会場設営では、師長さんにお手伝いをしていただけスムーズに開始できた。同時に案内チラシ掲載場所を確認できたのは良かった反面、会場設営に置いて負担になったのではないかと考える。事前にどこに案内を掲載していいか確認が必要。また、もう少し早めに到着し準備開始できるようなら当日対応したい。
- ・広報から開催までに3日しか取れなかったが、1組の来場があり、相談員3名で対応した。1時間弱と世間話から不安な気持ちや疑問点など多岐にわたって相談があり、1名での相談では荷が重いこともあるところ、今回相談員3名で対応したので相談員の負担は少なくできたのではないかと。
- ・サロンでも気持ちを共有することができるが、個別対応だと、サロンでは深くまで話せないことも吐き出すことができたのではないかと。
- ・中部病院の患者サロンへの広報もし、サロンへ繋ぐことができたのは良かった。



▲中部病院

【那覇市立病院／参加人数】 0名

【那覇市立病院／振り返り】

- ・受け入れ先職員の指示に従いながらチラシ案内板を設置。入口が2か所あることを知らなかったため、事前に確認が必要だった。余分に案内表示を準備していたことで対応できたことは良かった。
- ・1ヶ月前には広報できていたが、相談予約は1件。当日キャンセルとなり、直接来場いただけた患者さんはいなかった。
- ・会議室の大きさはコンパクトで個別相談には良かったと思う。
- ・当日は、相談がなかったことから、がん看護専門看護師の実習生と意見交換会を行った。本来は相談がない空き時間に行う予定だったが、2時間しっかりとお話をできた。当センターの活動やピアサポーターの役割について、またがん患者の立場としてお話しができた。
- ・今回は登録サポーターのお2人に参加いただいたが、お互いでピアサポートという形で終了。
- ・継続してピア・サポーターの活動の場所を提供していきたい。



▲那覇市立病院

令和5年度 沖縄県委託事業

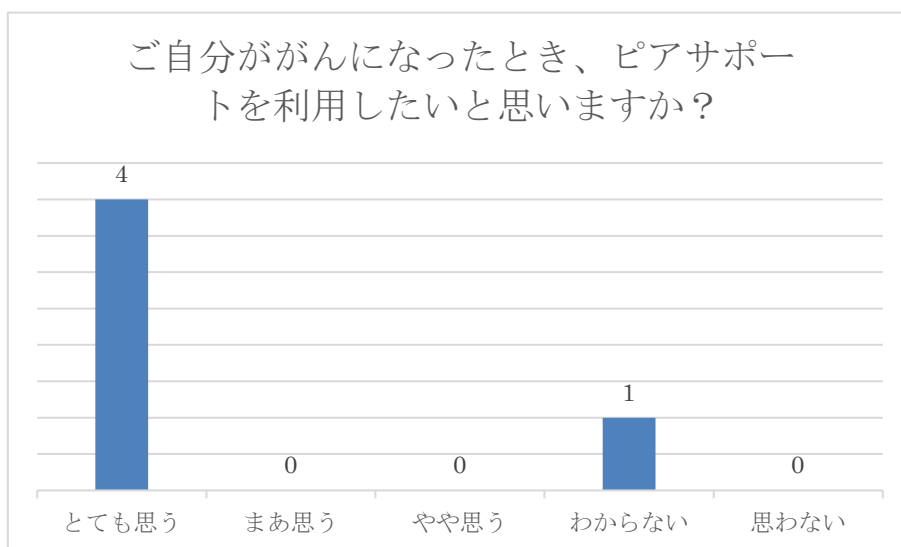
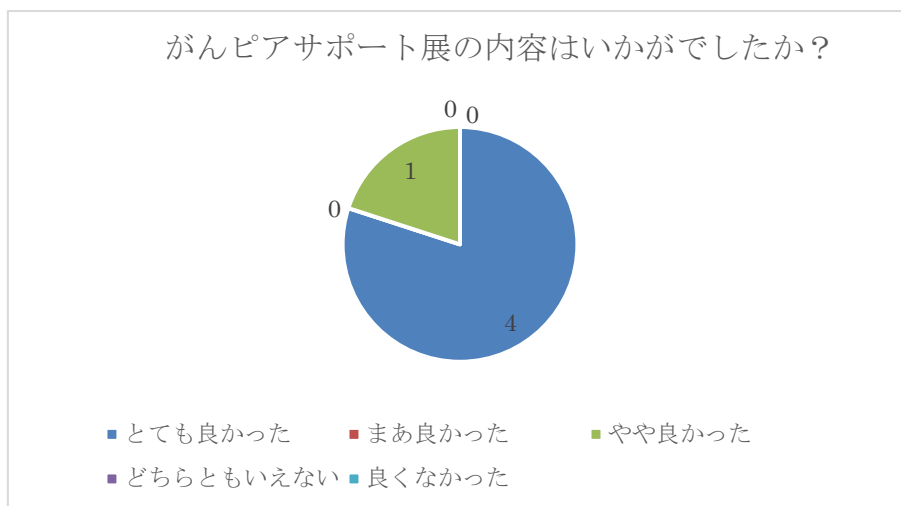
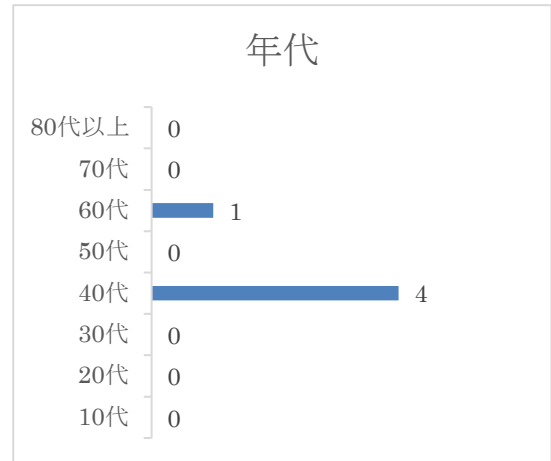
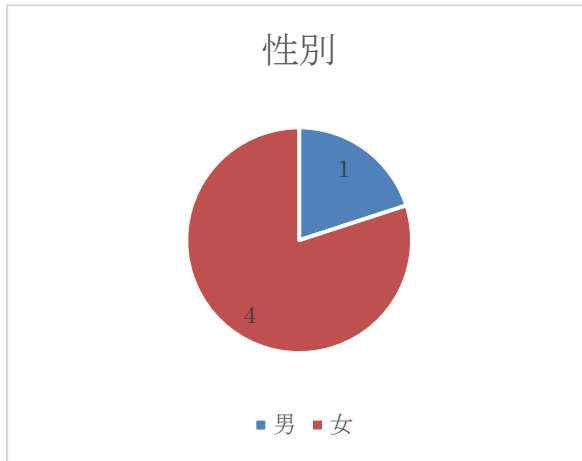
がん ピア・サポート展 開催報告

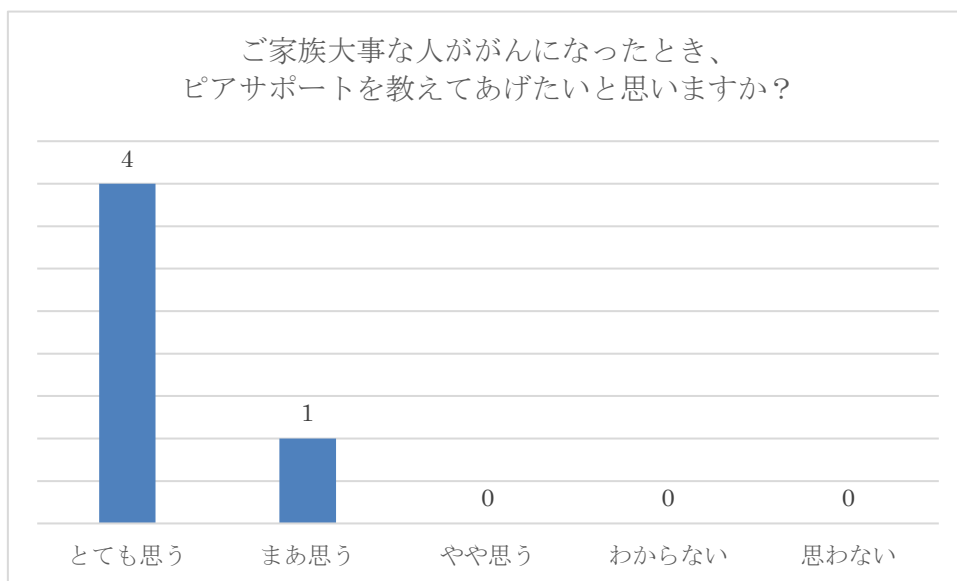
実施日：令和5年6月28日（水）～7月24日（月）9：00～20：00
沖縄県立図書館 4F 展示エリア

開催概要

1. 名称 がんピアサポート展
2. 日時 がんピアサポート展～いつもあなたのそばに～
令和5年6月28日（水）～7月24日（月）9：00～20：00
（毎週火曜日休館日）
3. 場所 沖縄県立図書館 4F 展示エリア
〒900-0021 那覇市泉崎 1-21-1 カフーナ旭橋 A 街区
4. 対象 地域住民の皆様、がん患者およびその家族、関心のある方
5. 目的 沖縄県地域統括相談支援センター普及広報
がん患者やその家族が抱えている不安や心配ごとなどをがん体験者（ピア・サポーター）が自身の経験に基づき、同じ立場でお話したり聴いたりすることで軽減、気持ちの整理をつける場でもあることを広く展示紹介する。
6. 内容 沖縄県地域統括相談支援センター活動展
 - ①センターの概要：活動内容、相談対応時間等の情報案内
 - ②がん体験談など：登録サポーターによるがん体験談と養成講座を受講してのきっかけなど数点（パネル）紹介することで来場者にイメージをもたせる
 - ③がん情報：がんサポートハンドブック、がん患者さんのための療養場所ガイド、がん冊子、がん情報図書、事業イベント案内チラシ

がん ピア・サポート展 @県立図書館
 令和4年9月7日 ~ 令和4年10月3日
 回答数 12名





ご意見・ご感想をご記入ください。

・感謝してます。ご自愛ください！

・ピア・サポートの活動はがん患者の多大なサポートになると思いました。応援して
ます。頑張ってください。

・たくさんの資料もらえるのもありがたいです。



▲沖縄県立図書館

令和5年度 沖縄県委託事業

令和5年度 医療機関への説明会
開催報告

実施日：令和5年7月28日（金）17：00～18：15
久米島病院

【名 称】

医療機関への説明会

【目 的】

ピアサポート事業を広く周知するための普及活動として、医療機関への説明会を開催するとともに各関係機関との連携を図る。

【概 要】

1. 日 時 令和5年7月28日（金） 17：00～18：15
 - 「ピア・サポート活動とがん情報について」
 - 「わたしががん ピア・サポート」
2. 場 所 公立久米島病院 会議室
3. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター
4. 共 催 琉球大学病院がんセンター
5. 参加者 増田昌人（琉球大学病院 がんセンター長）
上地久美子（沖縄県地域統括相談支援センター 相談員）
比嘉優花（琉球大学病院がんセンター 事務補佐員）
喜瀬杏妃（沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員）
久米島病院関係者・医療従事者 11名

【内 容】

昨年度の意見交換会に引き続き、久米島病院の医療従事者を対象にがん ピア・サポート活動について理解を得るため説明会（講演会）を開催。久米島病院においてのがん患者さんの居場所づくりとがん患者さんの心の支えとなるピア・サポーターの役割など今後の活用について説明した。日程決定から開催まで日数が少なかった上に、直前に久米島病院での会議室での開催となり参加者が少ないことが懸念されたが、久米島病院の医療従事者・研修医の先生を含め当日 11名の参加となった。ピア・サポート活動の大切さや、離島でのがん患者さんの治療の選択肢など医療従事者のみなさんへ詳しく説明。がんサポートハンドブックや療養場所ガイドの活用の仕方や情報の取り方についてセンター長よりお話があった。ピア・サポーターの上地さんよりがん体験談とがん患者としての立場とピア・サポーターとしての両方の立場として講演いただいた。質疑応答では、ピア・サポーターの上地さんに多く質問があり、「どのように相談を受けている」や「患者さんからの答えづらい相談はどのように対応しているか」などピア・サポーターの役割について興味を示していただき理解を深めていただけたように感じた。

【当日の様子】



令和5年度 沖縄県委託事業

医療機関への 説明会

2023.7.28 FRI
17:00 — 18:00

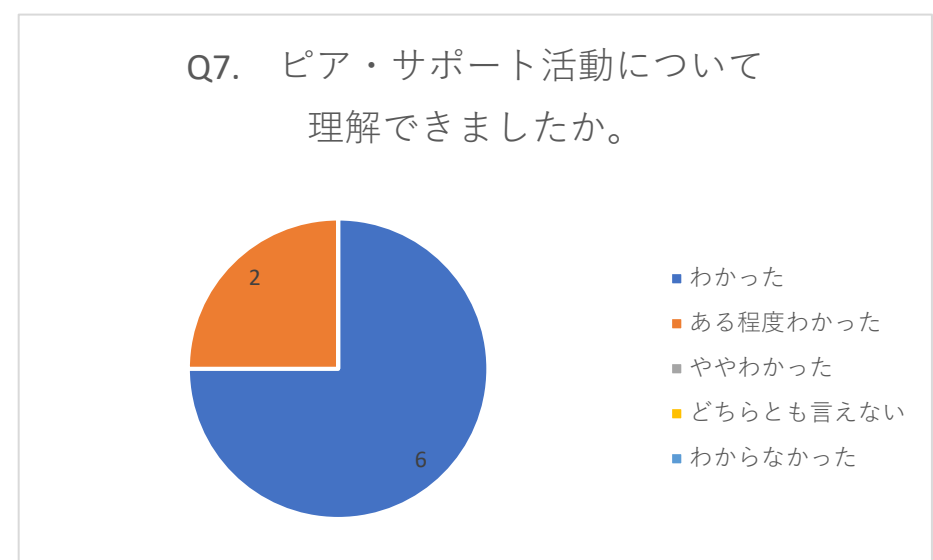
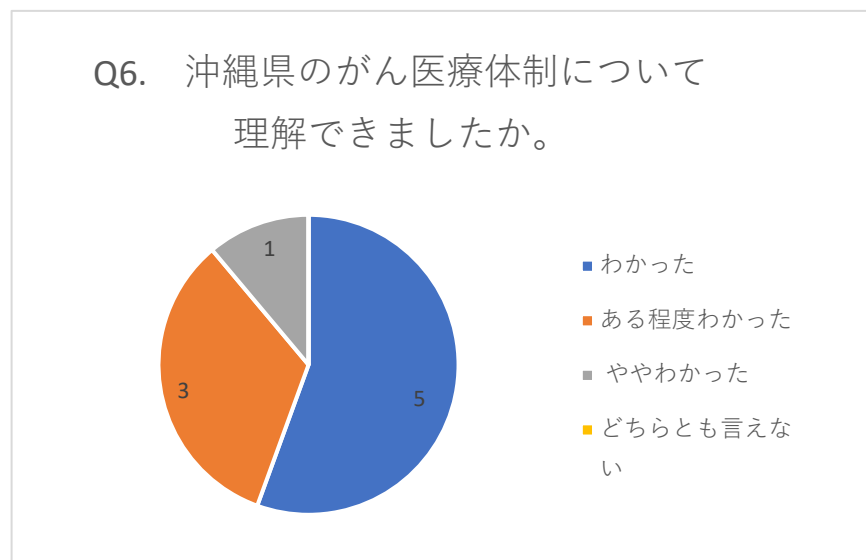
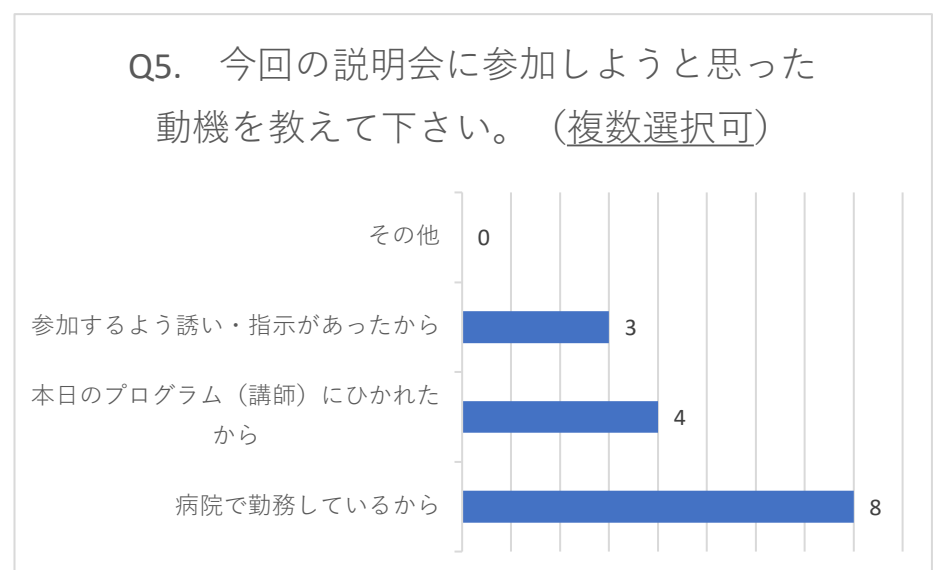
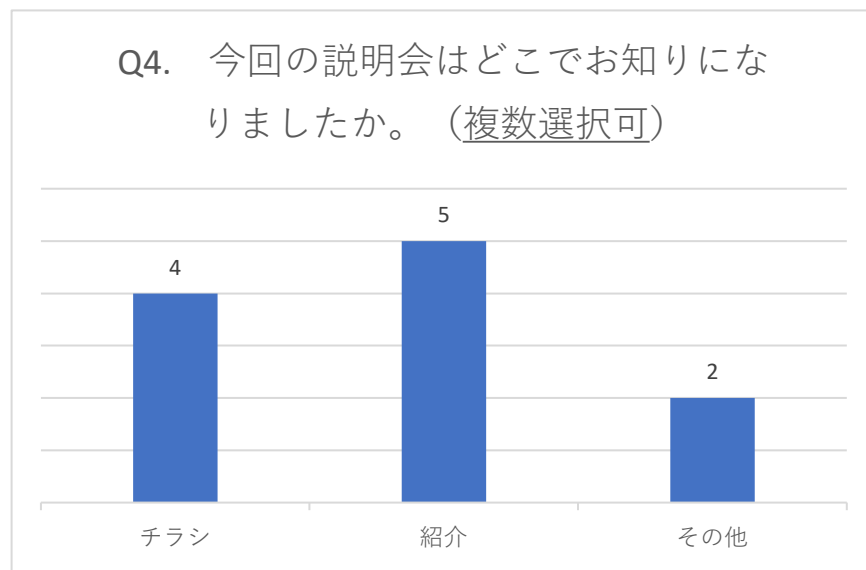
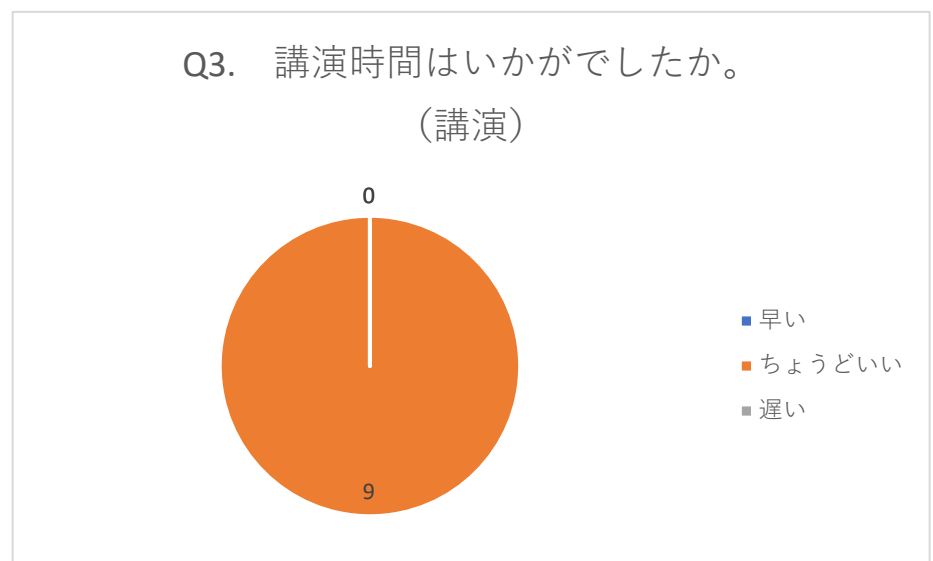
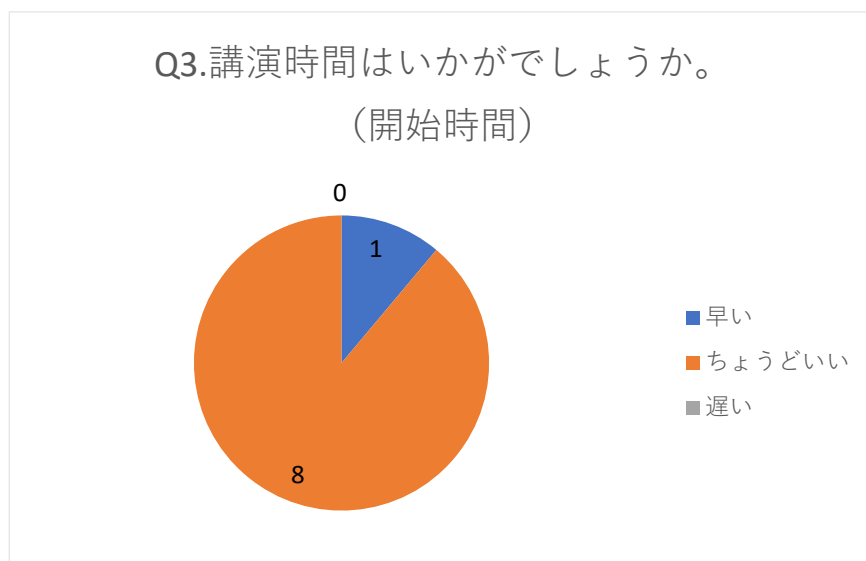
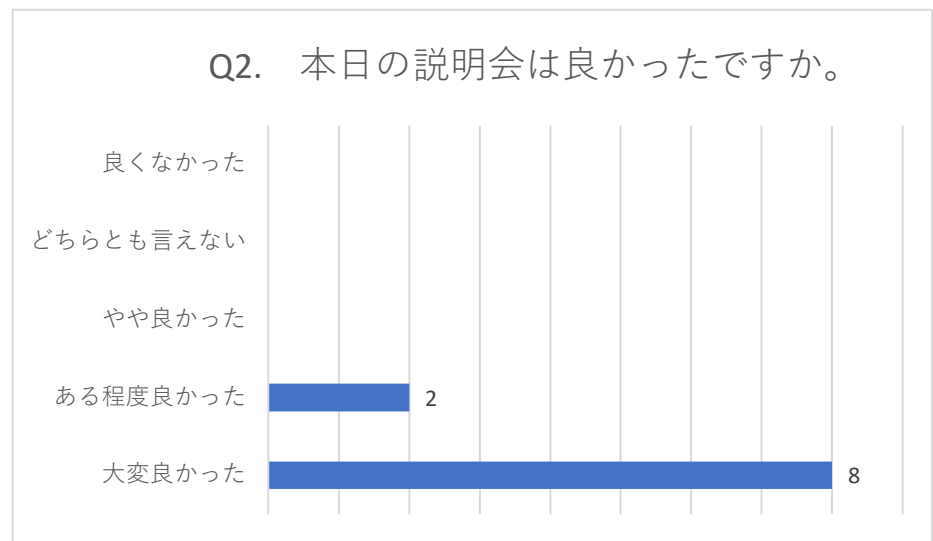
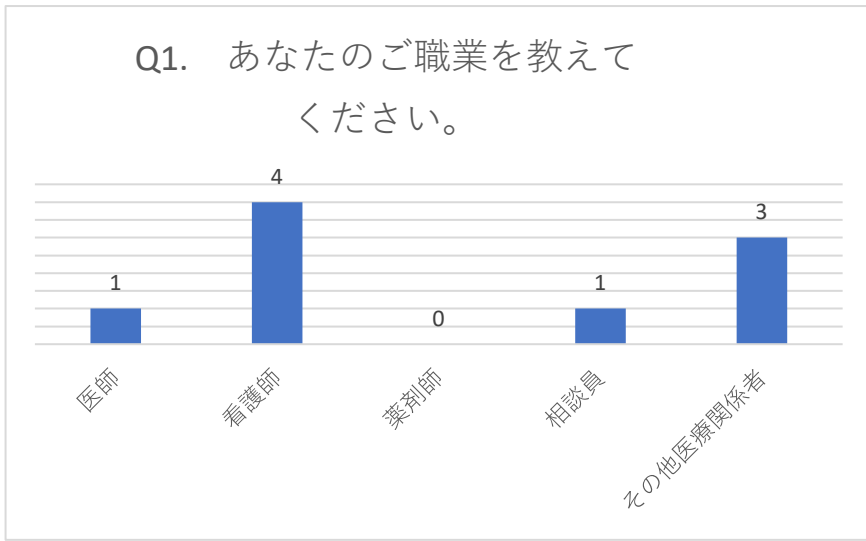
公立久米島病院 1階 会議室
〒901-9121 久米島町富手河372-3

参加無料 / 事前申し込み不要

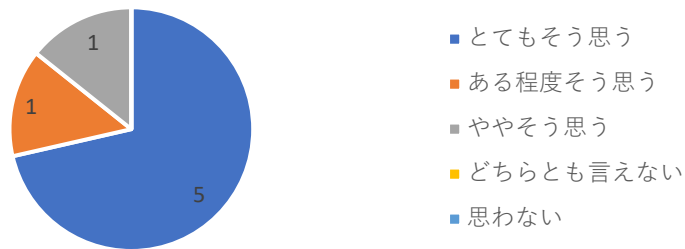
がん ピア・サポートとは？
当センターの活動を広く周知するため、
理解していただくための普及活動として
説明会（講演）を開催します。

- ◆ピア・サポート活動とがんについて
琉球大学病院 がんセンター 増田 昌人
- ◆わたしががんピア・サポート
沖縄県地域継続相談支援センター 上地 久美子

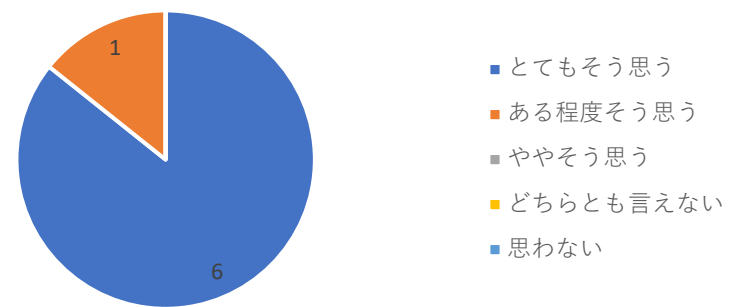
沖縄県地域継続相談支援センター
〒903-0235 沖縄県中郡那覇町字上原207番地
TEL. 098-942-3407



Q8. 貴院において、ピア・サポートによるがん相談を始めてみたいと思いますか？



Q9. 貴院において、がん患者会の活動をサポートしたいと思いますか？



Q10. わたしのがんピア・サポートについてのご感想をお聞かせ下さい。

- ・病気や生活の不安がいつまでも続く中、話を聞いてもらえると気持ちを切り替えて日々生活することができるように思いました。癌で悩んでいる人がいればピア・サポートを進めていきたいと思えます。自分自身も傾聴できるように意識しながら仕事をしていきます。
- ・がん患者さんを看護する事はあっても、ピア・サポートという活動があることや色々な本やがん患者の支援する場などがあることを初めて知った。実際に経験していないから分からないでしょ。この症状は自分にしか分からないなど言われることも多く、その際どう言葉をかけてあげればよいかという思いもあった。今回の学びで、傾聴の大切さなど知ったことや、ピア・サポートという支援している方がいる事を看護する際に、患者さんへ伝えたり、今回の学びを活かしていきたいと思った。
- ・本やネットで誤った情報が広まりやすい現代において、「話」で直接繋がることの重要性は益々増していると感じた。
- ・がんの経験者だからこそ、患者さんの心に寄り添える場面が多いと感じた。ポジティブな言葉づかいや傾聴する姿勢を今後心がけていきたい。
- ・共感と具体的な答えを求める相談との窓口をわけるという意味でも良い施策と感じました。

Q11. 本日の説明会に関するご感想や、ご要望など何かあれば自由に記載してください。

- ・母親を癌で亡くしているので、もっと早く出会っていたら良かったです。
- ・次回も楽しみにしております。ありがとうございます。
- ・がんを実際に経験された方からのお話で、ピア・サポート活動が何故大切なのか理解することができました。
- ・群馬でもこのような取組みを普及して欲しいです。
- ・貴重なお話ありがとうございました。おきなわがんサポートハンドブックに診療科別の専門機関とその連絡先が書いてあるのがアクセスしやすく分かりやすいと感動した。

沖縄県地域統括相談支援センター
事業評価会議
開催報告

令和5年度

第2回 沖縄県地域統括相談支援センター事業評価会議

日時 令和5年8月4日(金) 9:00~10:00
場所 Zoom(オンライン)
出席者 天野 慎介さん(一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長)
増田 昌人 (沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長)
喜瀬 杏妃 (沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員)

【議題】

1. アピアランス支援モデル事業 (資料1)
2. 「沖縄県がん患者会連合会」との連携について (資料2)
3. ピア・サポーターの活動強化について (資料3)
4. オンライン相談について (資料4)
5. その他

【報告】

1. 令和4年度 第4回 事業評価会議 議事要旨 (資料5)
2. センター事業計画 (資料6)
3. 相談件数統計 (資料7)
4. がん ピア・サポーターフォローアップ研修会 (資料8)
5. がん ピア・サポート展 (資料9)
6. 医療機関への説明会 (資料10)
7. その他

【報告・協議事項】

(1) アピアランス支援モデル事業

厚生労働省から提出いただいた資料をまとめて報告し、今後どのように進めていくべきか助言を求めた。

天野さんよりこの事業を進めていく上で2つの事をしっかり進めていく必要があると話す。1つ目は厚生労働省が示している項目を確実に行うこと。2つ目は沖縄県として次年度に繋げるために何をすべきか考える必要性があるということの助言を受ける。

項目を満たしていく中で、対面の開催は行いつつ、次年度以降の開催を考慮してオンラインでの開催も検討した方がいいのではないかと天野さん。そこで、国立がん研究センターが「働く人のためのアピアランス外見ケア講座」をオンラインで定期的に開催しているので、一度見学させてもらったらいいのではないかと天野さんよりご提案があった。

また、対面・オンラインで開催では、資生堂は共催ではなく協力との位置で開催するのはどうか。広報の際に、特定の化粧品等の干渉を目的としたものではないとチラシに記載した方がいいと助言いただく。

オンライン開催は年2回ほど行ってはどうかとのこと。心理的な安全性が不可欠であり、情報提供の場と実地の場は分けた方がよく、実地の場合はプライバシーはしっかりと守りつつ開催すると良い。

患者向けアピアランス教室などはがんサロンと併せて開催が望ましいが、単体で開催の場合は患者会関係の方にも声掛けするのも一つの方法。

男性向けの開催については、オンライン開催でかつ男性のみと限定した方がいい。広報については、あくまでも情報提供として統括ではピア・サポーターが相談対応していると紐づけても良いと話す。チラシ以外には動画を作るなど、他にもアピアランスに関する動画が上がっているので参考にすると良いと助言いただく。

今回のご提案とご指導いただいた内容を基に、年間計画を練り直すこととする。

(2) 「沖縄県がん患者会連合会」との連携について

現在連絡が取れていない現状を県へ報告していた方がいいのではないかと。また、「沖縄県がん患者会連合会との連携が難しい状況」とがん診療連携協議会に参加している患者会委員へ意見を求めてはどうかと天野さんより助言を受ける。

センター長より、各部会でも報告していた方がいいとの提案があがる。

患者会としてよく問題となるのは、場所が借りれないことや人がいないことが多いと天野さん。

そこで、ある一定の条件を満たしている患者会には交流会の場や講演会の場を提供できるように、時間はかかると思うが一度交渉するのはどうかと提案を受ける。

患者会支援という点でどのように支援することができるか予め検討し準備しておくことが良いのではないかと助言いただく。

おきなわクリニカルシミュレーションセンターなど安価で借りることができるかなども含めて琉球大学病院として交渉をする運びとなる。

(3) ピア・サポーターの活動強化について

前回天野さんからのご提案で、千葉県の野田さんよりピア・サポート活動についての意見交換会開催した旨を報告。

オンラインで2回意見交換会を開き、今年度は拠点病院3か所を千葉県を参考にパッケージで訪問する予定表を提示した。野田さんより定期的に助言いただいた方がいいとご提案いただく。

(4) オンライン相談について

オンライン相談数が0という報告を受け、対面の出張ピア・サポートをオンラインで開催するのはどうか。無理には開催せずに今開催しているオンラインゆんたく会を定例化で続けていくと良いと助言をいただいた。

(5) 報告事項

令和4年度第4回事業評価会議議事要旨およびその他報告事項は時間の兼ねいで書面報告とした。